

議 長 日程第2「議案第12号平成31年度松田町一般会計予算（一般会計予算審査特別委員会報告）」を議題といたします。

本案については一般会計予算審査特別委員会の審査報告を求めます。委員長齋藤永君。

予算審査特別委員長 平成31年3月13日、松田町議会議長 中野博殿。予算審査特別委員会委員長齋藤永。

予算審査特別委員会報告書。本委員会は、3月13日の午前9時より役場4階大会議室において、委員11名全員出席のもとに委員会を開催し、平成31年第1回議会定例会において付託された「議案第12号平成31年度松田町一般会計予算」について、慎重に審査いたしましたので、次のとおり報告します。

記、1、審査の結果。採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

2、審査の内容。歳入については一括、歳出については各款ごとに審査しました。

歳入は、自主財源の根幹である町税が減少傾向にあるので、新たな財源の確保に引き続き取り組む必要があります。

歳出は、新たに始まる松田町第6次総合計画に基づき予算編成をされ、魅力あるまちづくりに取り組んでいますが、厳しい予算編成となっています。

これらのことを踏まえ、次の事項について強く申し入れをして、賛成することとしました。

(1) 平成31年度大型事業については、詳細な財政推計を示してから執行されたい。

(2) 遊休町有地を活用した人口増加策に努めるとともに、町有地売却収入は、基金等に積み増しをされたい。

(3) 地方創生事業の委託料の中に改修費が含まれているので、投資的事業と区分して執行されたい。

以上です。よろしくお願いいたします。

議 長 一般会計予算審査特別委員会委員長の報告が終わりました。これより質疑に入ります。質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。質疑を打ち切って、討論を行います。

8 番 小 澤 平成31年度の一般会計予算案の中に、小学校設計委託料が含まれていることから、反対の立場で討論をしたいと思います。よろしく願いいたします。

反対討論。我が国経済の将来予測において、消費税増税による消費不況と、貿易摩擦や人口減少による経済成長の鈍化は、長期にわたり継続するおそれがあります。町の平成31年度一般会計予算書からも、町税の減少傾向や、物件費に占める賃金の上昇、委託料の大幅増加など、財政の硬直化が進んでいます。自主財源比率も45%に落ち込み、自立的な行政運営にかげりが見えています。人口問題研究所の資料からも、2040年には松田町の人口が7,300人と予測され、中でも小学生の人口は、寄地区も合わせ現在の416人から252人に40%の減と、生産年齢人口は5,865人から3,503人、48%の減になると予測されています。長期的な視点で見ると、町税収入の減少により財政規模は大きく縮小し、高齢化による扶助費の増加とあわせて、財務内容の悪化が予測されています。

このような状況下にある中で、町は町民の要望があるとして、当初計画に沿った小学校建設と、新松田駅周辺整備事業を、今年度から2026年を目途として、短期間のうちに実施しようとしています。これら事業費の総額は約45億円、借入金総額は約26億円に上り、返済期間は25年を要します。毎年の元利返済額は示されていますけれども、判断資料として最も重要な町税収入の見込み額や、返済財源の原資については説明がありませんでした。小学校建設や駅周辺整備は、松田町にとって長年の懸案であったことから賛成をいたしますが、町財政規模を大きく超えた借入金や、返済財源を示せない事業ありきの計画は、長期間にわたって財務悪化と町民サービスの低下が予見され、この予算案に賛成することはできません。

事業実施の前段として、返済財源の確保が急務であり、そのためにも停滞していた行財政改革を敢行し、年間事業計画の洗い直しや、組織改編による人件費の削減、各種団体への補助金見直し、受益者負担の原則を徹底するなど、経費の削減と税外収入の増加策を示すべきです。また、これら事業は、町民への負担が長期間にわたって継続するおそれがあり、丁寧な説明と町民の理解が得

られなければなりません。事業には基本的に賛成をいたしますけれども、事業規模、実施時期の見直しと、返済財源について具体的に明示されることを強く要請をいたします。議員の皆様には、今置かれたこの現状から目をそらすことなく、真剣に討議をされることをお願いいたします。終わります。

議 長 ほかに。

2 番 田 代 賛成討論をさせていただきます。予算審査特別委員会報告に、賛成の立場で討論を行います。

前提といたしまして、昨年12月の第4回定例会で審査（議）した平成30年度一般会計補正予算（第6号）「松田小学校等整備事業」の総事業費31億6,700万円（校舎建替28億9,600万円、小学校入り口の町道3号線改良2億7,100万円）、その財源の多くを町債24億円余（その後、国庫補助と基金繰入増で19億円余に変更）に委ねていることが賛否の論点となり、賛成多数で可決した経緯があります。

そして新年度予算の審査では、町税収入が減少傾向で推移する中、この事業による新たな元利償還金が2026年度から年1億300万円となり、後年度の財政を圧迫するため設計段階で規模を見直し、事業費を縮小するか否かが争点となっております。

松田小学校建替に係る大規模事業は、2019年度から2022年度までの4カ年にわたるものです。そして小学校の入り口に通ずる町道3号線が非常に狭いため、登下校時の児童や地域住民の安全を確保する目的で、現道4メートルの幅員を7メートル（歩道2メートル・車道5メートル）への拡幅工事が計画されています。この町道は、本来であれば相当以前に完了すべき事業ではなかったのでしょうか。

町が優先すべき事業は、義務教育施設の整備と運営、町民の福祉向上です。松田小学校建替は、義務教育施設の整備にとどまらず、学童保育や放課後教室、地域の方の学びの場、さらに災害時の避難所や災害備蓄倉庫も備えた「町民のための防災拠点」という側面もあります。児童数に見合う規模と、地域に開放され災害時の拠点施設の整備には、19億円余は必要な町債（借金）です。この町債を少しでも減とするために、町はクラウドファンディング型ふるさと納税

の呼びかけを行います。公債費比率は一時的に11%となり、財政状況は厳しくなりますが、町の体力から福祉の質を低下させずに乗り越えることができる数値であり、子や孫に誇れるレガシーとなるものと確信しています。

平成31年予算は、この4月からスタートする第6次総合計画に基づき、新規事業も加えて編成されています。しかしながら、歳入面では大変厳しい状況にありますので、大型事業執行に伴う詳細な財政推計を示すことや、町有地売払収入の基金積み増し金などの条件を付して、一般会計予算に賛成いたしました。

議員各位におかれましては、この趣旨を十分に理解していただき、御賛同くださるようお願いいたします。

議 長 ほかに。ほかにございませんか。

ないようですので、討論を打ち切って御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。討論を打ち切り、採決を行います。議案第12号平成31年度松田町一般会計予算について、予算審査特別委員会報告のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

起立多数であります。よって、本案は委員会報告のとおり可決されました。